

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 糸ぐるま大泉教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数の事業所をもつことにより研修等でいろいろな意見を吸収できた。	各事業所の質の均一化を図るために共同研修やブロック別研修の機会を設け取組むこととした。	特に、来年度以降は研修を充実させるため事業所を超えたブロックによる研修に取組み、広い意見や見識を結集することに試みる
	大泉を中心にブラジル人のこどもをはじめ、ベトナム人、ペルー人、日本人などいろいろな人種と文化が混在し、多様性に富んでいることからインクルー支部の環境や他文化交流が自然に図れること。	各事業所にブラジル人の児童指導員を2名ずつ配置し、交流やコミュニケーション上の配慮を行うことで働きやすい環境の提供やコミュニケーション上の問題解消に備えている。	事業所の枠を超えた事業所間の交流、コミュニケーションの工夫、異文化体験を深める交流会などを企画する。
3	緊急時の対応については意識が異なっているため共通理解を深めることを意識的に取り組む必要がある。そのことは利用者の支援に繋がり重要なことが多く含まれている。	一度伝えたことも意識的に繰り返し説明したりお願いしたりすることで理解の徹底を図るよう心掛けている。	日本語の習得の機会として、伊勢崎市にある未来夜間中学に学習経験を積むよう支援している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育の樹実、特に子供の利益を優先するためにプロセスを重視する必要がある。	発達の手をを整え、育ちを支えるためにはどのような取り組みをするか。	常に理念に立ち返って考えることを習慣とすることで、ブレない療育を確立する。
2	委員会議事録の標準化を図る必要がある。 ヒヤリハットの分析を深め、事故防止に努める。	理念と照合しながら活動を見直すことで事業所間の共通理解が図れると考えた。 ・ヒヤリハット体験を意義あるものにする必要がある。単に記録に留めないためには分析を深める必要がある。	記録の質の均質化を図る子に加え、具体的な案件を基に改善を図ることにより質の向上を課題として取り組む必要がある。
3	異文化や言語に興味を持つことで尊厳を深めるようにしたい。	文化の違いはことばの習得に留まらず深く影響している。交流の機会を出来る限り設け積極的に交流参加が必要がある。	避難訓練に代表されるように実践的な活動の機会を優先的に考え、取り組みやすく理解しやすい環境を提示するよう心掛ける。